

既定のアプリを変える（改3）

既定のアプリとは、複数のアプリがパソコンに入っている場合、通常使うアプリのことです。

ファイルやアイコンをダブルクリックすると、開くソフトと言ってもいいでしょう。

例えば、

写真ファイルをダブルクリック・・・フォトが開く

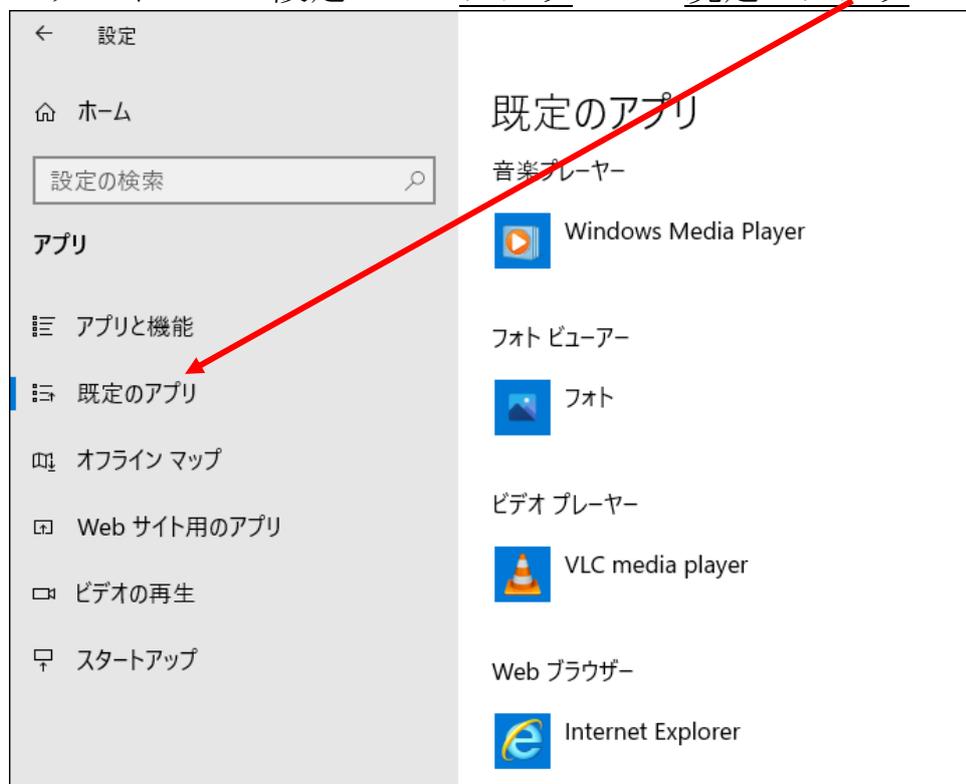
文書ファイルをダブルクリック・・・ワードが開く

インターネットのアイコンをダブルクリック・・・Edgeが開く

などなどです。

パソコンには、予め Microsoft が設定したアプリ（ソフト）が自動的に起動するように仕組みであります。これを「既定のアプリ」と呼びます。

代表的なアプリの設定は、設定画面で確認出来ます。
スタート → 設定 → アプリ → 既定のアプリ

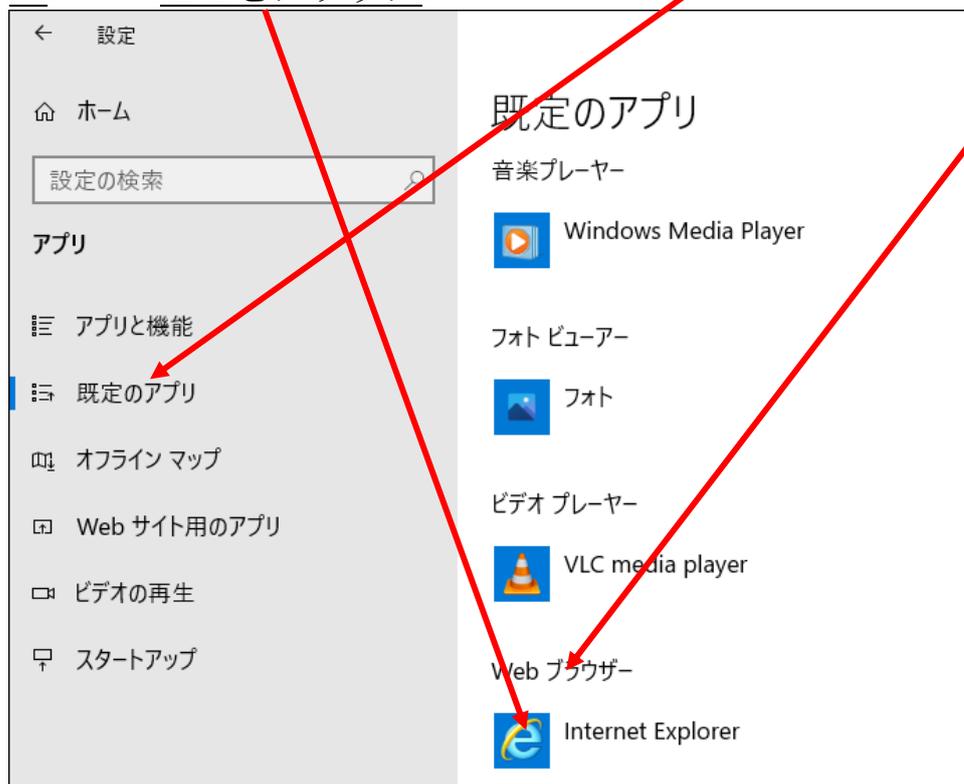


上図では、音楽は WindowsMediaPlayer が開く、写真（フォトビューアー）はフォトで開く、インターネット（Web ブラウザー）は、Internet Explorer で開くようになっています。

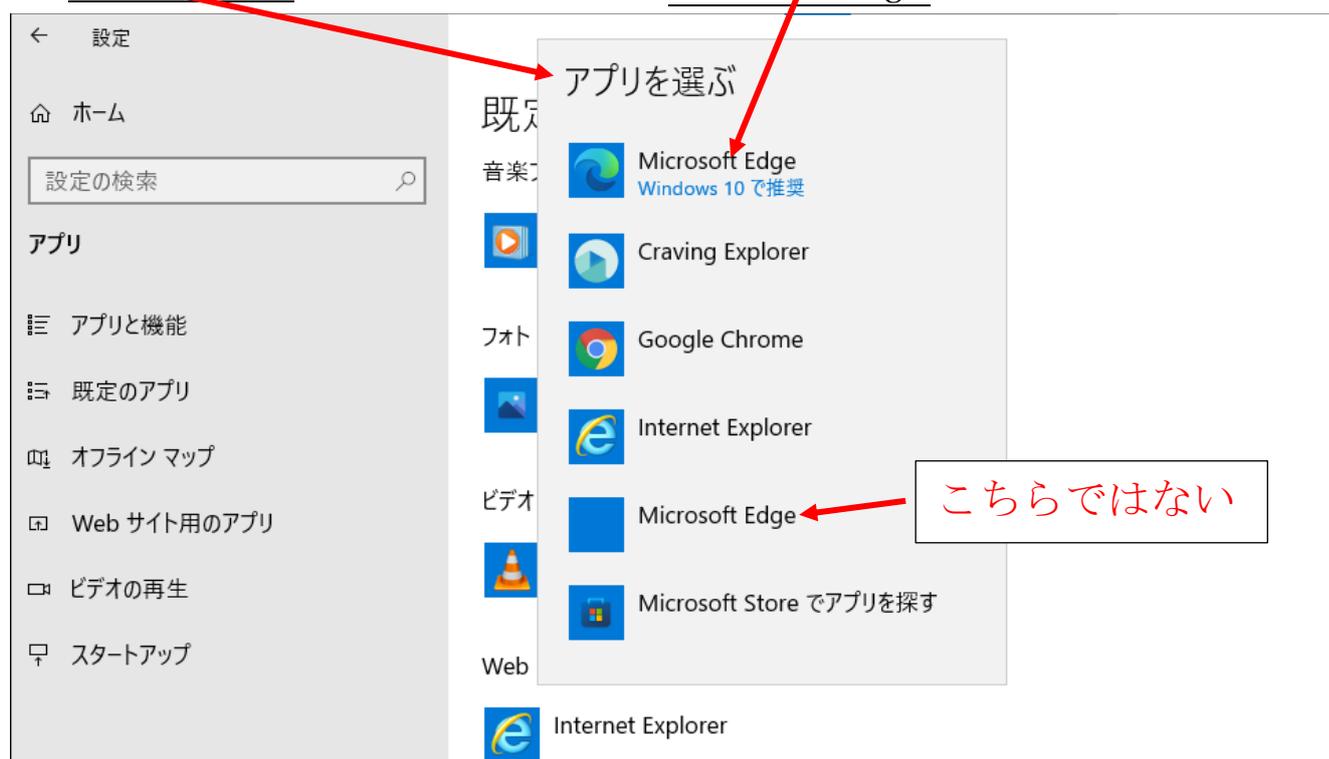
設定を変えてみましょう。

例として、インターネットを開くソフトを、Internet Explorer から、Edge に変えてみます。

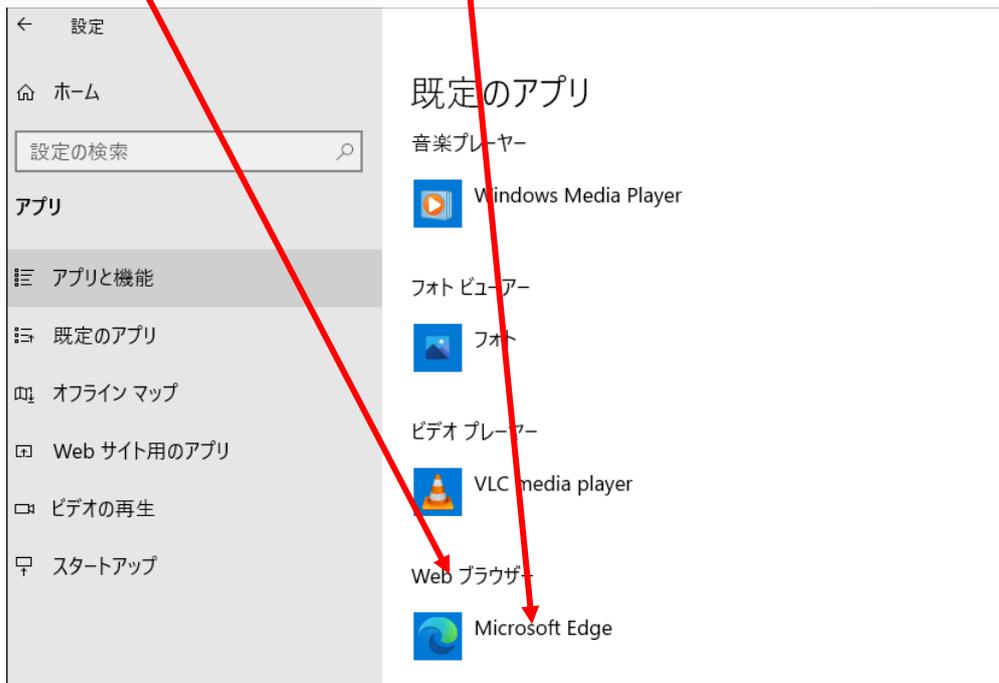
1. スタート → 設定 → アプリ → 既定のアプリ → Web ブラウザ → ここをクリック



2. アプリを選ぶ 画面に変わる → Microsoft Edge をクリック



3. Web ブラウザーが、Microsoft Edge に変わりました → 閉じる



以上で、完了です。

これで、次回からインターネットのアイコンをダブルクリックすると、自動的に **Microsoft Edge** が起動し、サイト表示されます。

同様の操作で、例えば音楽を聴くソフトも自由に変更されます。

注意：

但し、パソコンに使いたいソフトが入っていない場合は、上記の設定は出来ませんので、まず、第3項のアプリの一覧に希望するアプリが表示されない場合はパソコンにソフトを入れてから、既定のアプリの操作を行ってください。

以上